

尾張旭市

民児協だより

令和6年1月1日

編集・発行
尾張旭市民生委員
児童委員協議会
第21号

会長あいさつ

尾張旭市民生委員児童委員協議会
会長 柴田 豊

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、「2類相当」から「5類感染症」に移行しました。私たち民生委員・児童委員の活動も創意工夫を凝らし、コロナ禍前の活動が少しずつできるようになりました。

小・中学生の登下校の様子を見守っていると、5月頃までは、マスク姿の子どもたちを多く見かけましたが、6月以降は小・中学生に限らず、マスク姿の人を見かける機会が減り、これまでの日常生活に戻り始めたことを実感した一年となりました。

しかしながら、昨年の夏は全国で記録的な猛暑と渇水に見舞われ、稲作や園芸作物など農地に大きな被害が出ました。また、地域差はありますが、線状降水帯の発生や、局地的に猛烈な雨が降り、河川の

氾濫や土砂災害が発生し、甚大な被害が出ました。

尾張旭市は、自然災害に強い地域にあります。そのため、今年も、災害が発生した場合に適切な対応ができるよう「災害に対する備え」を地域住民や関係機関と連携を密にして取り組みたいと考えております。

また、尾張旭市でも高齢者の割合が増加傾向にあり、一人暮らし高齢者世帯が増えていく中、人とのつながりが希薄化して孤立するケース等、支援が必要な人が増えています。支援を求める方々の思いを関係機関に繋いでいくことを意識し、多様化する課題改善に努めていきたいと思っております。

終わりに、皆様方の更なるご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

白鳳地区[白鳳校区]の活動

会長 塚本 美 鈴

白鳳地区は、令和4年12月に西地区から分かれました。独自の新しい活動として、二つの事業に取り組んでいます。

一つは、以前から白鳳校区社会福祉推進協議会の事業として実施されている「いきいきサロン」を民生委員・児童委員と白鳳校区社協の共同事業として新たに始動しました。名称を「いきいき白鳳」と改めて、対象者の範囲も拡大するなど、新しい形で地域の方とのつながりに貢献することを目指しています。また、参加しやすくするように、4箇所の会場を設け、年に4回開催しています。

もう一つは、以前から配布していた「緊急時情報カード」を白鳳地区独自の形に作成しました。多くの方

に行き渡るように紙で作成し、日常生活の情報の更新を考え、毎年配布することになりました。

また、外出時にも活用ができるように、携帯サイズの「安心カード」も準備し、令和5年度の調査から活用しています。

これからも、より安心して暮らせる地域づくりに関わっていきたいと考えています。

(塚本 美鈴)



▲緊急時情報カード



▲「いきいき白鳳」の様子

西地区[渋川・瑞鳳校区]の活動

会長 平野 君 恵

西地区は、渋川・瑞鳳の2小学校区の民生委員・児童委員22名で構成しています。

昨年7月には旭校区と合同で、豊田市足助町にある「百年草」を視察しました。この施設は福祉サービスと観光を融合させようという考えで始まったということです。

地域の高齢者の方たちが、「足助ハムzizi工房」と「ベーカリーバーバラはうす」という2つの職場で、本物を作る、という意気込みを持ち、活き活きと働いている様子を見学してきました。

昨年6月から8月には、地域の小・中学校との教育懇談会にて、各学校・地域それぞれにおける子どもたちの様子を情報交換し、今後協力し合って子どもたちの成長を支えていくことを確認しました。 (平野 君恵)



▲市外研修 zizi工房



▲小学校との懇談会

城山地区[城山校区]の活動

会長 加藤 克己

新しい仲間を迎え、早一年が過ぎました。
一年前はコロナ禍で、民生委員としての活動がほとんどできませんでしたが、昨年度からようやく通常の活動ができるようになりました。委員全員が地域の見守り隊として知識を深めていくため、研修活動を中心に進めています。

もしもの災害時に備え、防災センターでの研修や障がい者・高齢者の理解を深めるため豊橋市の複合施設に行きました。また、一人暮らしの高齢者に「緊急連絡先マグネット」を配布するにあたり、校区連合自治会、校区社会福祉推進協議会と合同で作成して、配布できるよう準備を進めています。

私たち民生委員・児童委員は、地域の皆様の連絡・相談役として各地域に配置されて

います。どうかお気軽に声をかけてください。
(加藤 克己)



▲城山小学校座談会



▲豊田防災センター研修

旭丘地区[旭丘校区]の活動

会長 柴田 豊

私たちの旭丘地区は、毎年近隣の福祉施設を視察しています。7月には、城山地区と合同で豊橋市の複合施設「昭和の里」へ行きました。古き良き昭和の時代をイメージした懐かしく暖かい雰囲気が見られました。



◀昭和の里



旭労災病院▶
プラスワン
座談会

就労継続支援センターでは、通常の事業所で働くことが困難な障がい者の方に就労や生活の支援を提供されており、一生懸命、お菓子作りに向き合う姿が心に残りました。

また、コロナ禍の中、地域(守山・瀬戸・尾張旭)と病院が連携を図り、一緒に啓発をしようとして「旭労災病院プラスワン座談会」を行いました。第1回(8月)は「がん治療と支援に関する相談会」、第2回(10月)は「嚥下や嚥下食に関する疑問を解決!」について勉強しました。

今は、がんと共に生きていく方も多い時代です。「がんと診断された方やご家族が、その人らしく前向きに生活できるようサポートします。」と看護師さんに言われた言葉に勇気をいただきました。(林 良江)

旭地区[旭校区]の活動

会長 大橋 きよ子

昨年7月7日、足助の百年草と豊田市松平郷にある松平東照宮を訪れました。

尾張旭市から1時間弱で、緑多い足助にある百年草に到着しました。百年草内にあるzizi工房では、丁寧なハム・ソーセージ作りの工程をガラス越しに見学できました。高齢者が3年ほど経験を積んだ後、本格的にハム作りに従事する取組は、高齢者の活躍の場を広げることができると思いました。

また、百年草は、香嵐溪と三州足助屋敷を管理する(株)三州足助公社が管理・運営を行っており、安定した経営基礎があるため安心して働ける場でもあると思いました。

昼食後は、松平郷にある松平東照宮へ行き、108枚の漆絵からなる東照宮拝殿の「天井

画」の美麗さに魅了されました。

見聞を広げる機会をいただき、お話いただいた方々に感謝の一日でした。(若杉 佳代)



▲松平東照宮にて

東地区[東栄・三郷校区]の活動

会長 荒谷 省三

青空に入道雲の広がる時期、東地区の民生委員・児童委員は社会福祉法人ベテスタの就労継続支援B型事業所「ぱんカンぱん」と、施設入所支援事業所「こいしろの里」を訪問しました。



▲施設入所支援事業所「ぱんカンぱん」研修

施設では、災害用の備蓄パン作りや缶詰の業務など、一つ一つ丁寧に作業を進めていく様子と、より高い生活の質の実現のため利用者の方と支援者の方が協力して生活している様子を見学しました。そして、私達が帰る際には笑顔で手を振ってくれた利用者の方々の素直な心が伝わってきました。このように、一人一人が多様性を持って活躍できる場所があることで地域の中で安心して暮らせる社会に近づくのではないかと感じました。

また、今回研修担当者として携わり、「チームワークの大切さ」「一人一人への思いやり」「感謝の気持ち」を実感することができました。

では、皆様にとって幸多い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。(有路 純子)

本地原地区[本地原校区]の活動

会長 赤尾 博

本地原地区は、令和4年12月に新しい仲間を5名迎え17名で歩み始めました。

民生委員・児童委員の活動は母子父子家庭、高齢者、障がい者世帯などへの訪問や実態調査をして見守りをしています。

民生委員の活動は他にも、校区社会福祉推進協議会や、連合自治会の地域活動も一緒に参加しており、昨年6月に「ふれあい昼食会」、10月に「ふれあい運動会」、12月には「餅つき大会」を3年ぶりに開催することができました。

今年の3月には「健康ウォーキング」など地域の皆様と一緒に楽しめるよい機会を持つことができと思っています。

また、10月には地区の定例会で出前講座を開催し、「感染予防について」専門の方に

来ていただき、今後の活動に参考となる良いお話を聞くことができました。

少しずつ色々なことを学びつつ、地域の中で何が必要なのか、何ができるか模索中ではありますが、元気に地域の皆さまと共に歩んでいきたいと願っておりますので、よろしくお願い申し上げます。(平山 恵美子)



▲出前講座「感染予防について」

『民生委員・児童委員の日』講演会を行いました

広報部会
部会長 大竹 厚 美

昨年5月12日(金)に文化会館あさひのホールにおいて、一般社団法人P F S協会代表理事の星野智生氏をお招きし、「支援現場から見える子どもの現状と課題」について講演を頂きました。

星野先生は、引きこもりや不登校の子どもたちに寄り添う支援活動を行っておられる方で、ご自身の活動から現場で見た子どもたちの様々な事情や課題について、多くの具体的事例を交えてお話いただきました。講演後のアンケートでは、「信頼と寄り添い、信じることの大切さと難しさを痛感しました。」との意見が多く、子どもたちの現状に対する理解と関心を深めるとともに、民生委員・児

童委員としての役割や責任を改めて考える機会となりました。(松原 孝光)



▲民生委員・児童委員の日 講演会

高齢者福祉部会の活動

部会長 高 井 良 二

昨年5月にコロナ感染症対策が緩和され、個人の自主的な取組を基本とした対応も落ち着きを取り戻しつつある中で、当部会が担当する民児協の研修を前年度に続き11月に行うことができました。行先は静岡県の日本平、久能山東照宮でした。

日頃から仕事を持ちながら多岐に渡る民児協の活動を兼務している委員が増加傾向ですが、多くの民生委員・児童委員の方々に参加を頂き、委員相互の親睦と日頃の活動の慰労に貢献ができ一安心。あいにくの天気でしたが、歴史散歩を楽しむことができました。

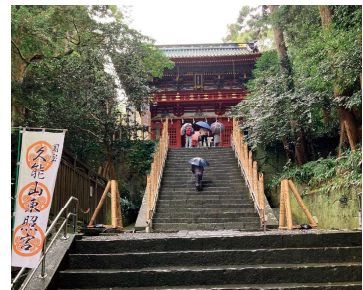
また、今後につきましても高齢者福祉に関する理解を深めるため学習活動などを積み重ね、お隣のおじさん、おばさんとして高齢者

等に寄り添える委員を目指して、知識の研鑽を積みながら地域福祉活動の役割を担えるよう努めていきます。(高井 良二)



▲日本平で昼食

▼久能山東照宮



児童福祉部会の活動

部会長 竹 内 修 美

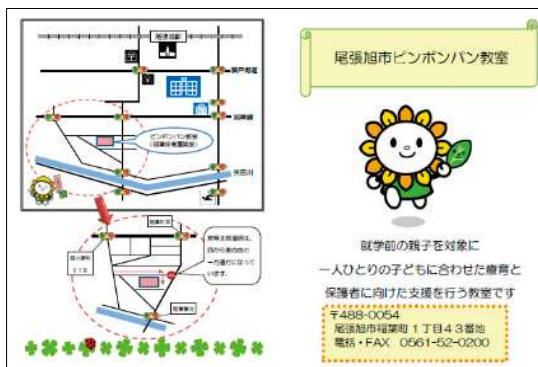
昨年4月に、児童福祉部会は新体制となり、新たなメンバーにて活動を始めました。

ピンポンパン教室から運営に関する協力依頼があり、5月から運営支援をスタートしました。

ピンポンパン教室は、色々な発達に心配のあるお子さんが保護者と一緒に通園する施設で、色々な遊びの経験や生活習慣を身につけるための活動を通じて、よりよい親子関係を作り、一人一人の発達を促すことを目的としています。

児童福祉部会では、この教室で日頃、触れ合うことの少ない子ども達との交流を通して教室の運営支援をしていくことが主たる活動となります。この活動で得た経験をフィードバックし蓄積することで、今後の児童福祉活動にさらに活かしていきたいと考えております。

(竹内 修美)



▲ピンポンパン教室のリーフレット

福祉活動支援部会の活動

部会長 平 嶋 敬 祐

昨年6月に民児協で参加者を募り、東名ボールにてウェルフェアボウリング大会を開催し、沢山の方と一緒に良い汗を流しました。

また、9月には、部会で出前講座を開催し、「合資会社 あすわひのき」の方に来ていただき、介護保険やケアマネジャーの仕事について勉強しました。

出前講座終了後、部会委員から「とても分かりやすかった」「明日はわが身、とても参考になった」との意見がありました。

今年度も、現場で勤務されている方をお招きしてお話を伺い、今後の活動に活かしていきたいと思います。(平嶋 敬祐)



▲ウェルフェア
ボウリング大会



介護保険について▶

主任児童部会の活動

部会長 清 水 まさみ

主任児童委員は、民生委員・児童委員の中でも、主に子どもに関することを専門的に担当する委員です。各小学校区に2名ずつ、合計18名が活動しています。



▲「あさちゃん」の取材

現在、不登校児童の増加が続いています。学校に行けない、行かない悩みを抱える子どもと保護者、その家族が集い、悩みや不安に思っていることを気軽に話したり、分かち合ったりすることができる居場所が必要ではないかと考え、昨年度より「子育て応援ひだまりカフェ」を立ち上げました。

今後も小・中学校保護者アプリや、広報おわりあさひ、各公共施設にチラシの掲示など、周知を図りながら、月1回市内の公共施設で開催する予定です。参加者の皆さんと共に悩み、歩んでいきたいと考えています。

(清水 まさみ)

民生委員・児童委員は、「あなたの身近な相談相手」です。

「民生委員法」及び「児童福祉法」に定められ、厚生労働大臣に委嘱されたボランティアとして、地域住民の立場に立って、みなさまの暮らしを支援する人です。

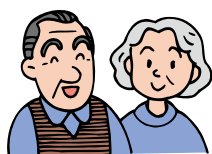
すべての民生委員は児童委員も兼ねており、子どもに関わる相談支援活動も行います。また、主任児童委員という主に子どもに関する支援活動を行う委員もいます。

地域のみなさまの相談相手ですから、子育てに関すること、健康・医療に関することなど、生活の中で

気になっていることをご相談ください。心配ごとなどを解決するために、みなさまと行政とのパイプ役や調整役をします。

民生委員・児童委員には守秘義務があります。地域のみなさまから受けた相談内容の秘密を守り、個人情報やプライバシーの保護に配慮した支援活動を行います。

また、自然災害や悪質商法被害などから地域住民を守る取り組みを進めています。



高齢者

ひとり暮らしの方、高齢者世帯の方、介護制度を利用したいとお考えの方、お困りのことなど、ご相談ください。

児童

子育て、親子関係、虐待、非行、不登校など心配なことがあればご相談ください。



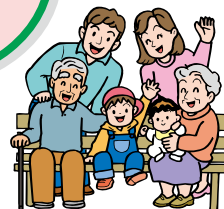
障がい者

障がいのある方、援助や福祉サービスなどの情報が必要な方など、ご相談ください。



生活

家族のこと、仕事のこと、経済的に困っていること、悪徳商法のことなど、お気軽にご相談ください。



表彰

○愛知県社会福祉協議会会長表彰 堀内 恵美

○愛知県知事感謝状表彰

塚本 美鈴

寺尾 時春

矢木 十三

諸橋 早苗

林 良江

川島 弘子

松原 式信

加納智恵子

青井 信明

内多眞由美

伊豆原信子

大竹 厚美

浅井 正子

五藤喜久代

浅井 美紀

市野 正枝

(敬称略)

お住まいの地域の民生委員・児童委員の連絡先などについては、

市役所福祉課社会福祉係 (☎0561-76-8141) にお尋ねください。